

目標達成計画

作成日：令和 5年 9月 26日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2 (2)	コロナの5類への意向に伴い、面会や外出は再開できているが、外出は、施設職員とのイベント等での外出に限られており、家族との外出は未だ行えていない。お盆や年末年始等の外出や家族との外食等の希望も、ご利用者・ご家族双方からあるため、検討の必要がある。	法人のコロナ感染予防指針に合わせながら対応する必要があるが、ご利用者・ご家族の希望や要望も伝えていき、指針の変更や緩和を検討しながら、実行に移せるよう動いていく。	ご家族の希望である、お盆や年末年始等の外出は多くの家族親族等が集まることが予想されるので、それ以外の日常的な外出や外食から指針の変更緩和を検討していき、実行に移せるよう動いていく。	6ヶ月
2	10 (6)	毎月のお便りをご家族等に対して作成していることは継続しているが、法人としても事業所としてもSNSを始めた為、お便りが届くご家族以外にも、SNSを通して、日頃の様子を見て頂けることが出来るようになった。課題としては、高齢のご家族への視聴が困難であると考えている。	SNSの視聴は困難だが、希望があるご家族に、アプリのインストールの補助を面会時などに行っていく。またURLやQRコード等をお便りに載せるなど、ご家族が見やすいような配慮を行っていく。	SNSでの視聴を希望しているが、躓いているご家族の把握を行い、面会時にインストールを補助することが出来ることを伝えて行く。また、お便りにURLやQRコードを載せるなど、視聴しやすい方法を検討する。	6ヶ月
3	20 (8) 49 (18) 23 (9)	利用者の食事への希望などは、概ね叶えることが出来ているが、家族との外出や外食などが出来ていないため、職員との外出以外の外出を増やして行く必要がある。	一人ひとりの思い出の土地や店などを聞き取り、職員と共に外出し、大切な思い出を振り返る機会を作る。	一人ひとりの思い出の場所等を聞き取る(結婚式の場所や故郷など)。先日も入居前の家を見たいという利用者の希望を叶えるため外出したり、故郷でよく行っていた思い出の神社を見に行ったりしたが、継続して一人ひとりの人生の思い出を大切にできる事業所とする。	18ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。複数のユニットを有する事業所において、事業所全体でユニットごとの目標の総括を行う場合は、本様式を1つ作成してください。